

## 保育のICT化、導入メリットと補助金制度は？

近年、保育施設の54%が ICTツールを導入しているといわれています※1

保育ICTシステムの導入を検討している方向けに、保育のICT化推進の背景、導入メリット、補助金制度について簡単にご紹介します。ICT導入のご検討にぜひお役立て下さい。

※1 出典:厚生労働省 令和元年度 保育士の業務の負担軽減に関する調査研究

### 国や自治体がICT化を推進する目的は？

保育士不足が課題となる中、ICTの導入で保育園が抱える業務負担の軽減を図ることで、保育士の働き方改革につながることを期待されています。

また保護者様にとっても、今までよりも効率的に、そして円滑に、園とコミュニケーションを図ることができるようになるでしょう。

### ICTを導入するメリット

保育園がICTを導入する具体的なメリットには、どんなものがあるでしょうか。3つの観点でご紹介します。

#### ●保育士・職員のメリット

ICTの導入により、従来手書きで行っていた記録や書類作成をシステム上で簡単に記録・記入することができるようになります。また、園児の入退室時間をシステムで管理することで、延長保育料計算を簡単に行うことができる等、園内の様々な事務作業の効率化が期待できます。効率化によって生まれた時間をこどもと向き合う時間に充てることで、保育の質の向上にもつながるのではないのでしょうか。

#### ●施設管理者のメリット

保育士や職員の作業効率化により、残業時間を減らす効果や、紙の記録や保護者周知を行う場面が減り、ペーパーレスによるコスト削減効果が期待できます。また、園児情報などをシステムで一元管理することで、情報管理や園内での情報共有をスムーズに行うことができます。

#### ●保護者のメリット

園へのお休みや遅刻などの連絡をアプリ上で行うので、電話と違って繋がりにくい時間帯も無く、いつでも気兼ねなくできるようになります。また、保育園からの連絡もアプリ上で受け取ることができ、いつでも何度でも見返すことができます。災害など緊急時の連絡をアプリのプッシュメッセージでいち早く受け取れることもメリットでしょう。

## ICT導入に関する補助金制度

保育園や幼稚園のICT化を促進するために、様々な補助金制度があります。

制度を整備している主体は 内閣府、厚生労働省、文部科学省、自治体など様々です。またそれぞれの補助要件や施設あたりの最大補助額も異なります。

### ●主要なICT化推進の補助金制度

ここでは、主要なICT化補助制度について、過去に実施された概要をご紹介します。

#### ①保育所等におけるICT化推進事業補助金(厚生労働省)

対象施設:私立保育所、幼保連携型認定こども園、地域型保育事業(居宅訪問型を除く)を行う事業所

基準額:1施設 最大100万円

補助率:3/4(国 1/2 地方自治体 1/4)

#### ②園務改善のためのICT化支援事業補助金(文科省)

対象施設:学校法人私立幼稚園、学校法人私立幼稚園型認定こども園

基準額:1施設 最大72万円

補助率:3/4

#### ③保育所等におけるICT化推進事業補助(東京都)

対象施設:私立保育所、幼保連携型認定こども園、地域型保育事業

基準額:1施設 最大200万円

補助率:3/4

#### ④企業主導型保育所 運営支援システム導入加算(内閣府)

対象施設:企業主導型保育所 ※中小企業事業主のみ

助成金額:1施設 最大100万円

※市区町村によって実施状況や内容が異なる場合があります。詳しくは各自治体へお問合せください。

## ●その他の補助金制度

ICT化推進の補助金以外にも、ICT化と関連する補助金制度があります。

### ⑤保育所等におけるマスク購入等の感染拡大防止対策に係る支援(新型コロナウイルス感染症対策)

感染症対策に必要な経費、感染防止用の備品購入に対する補助金です。

感染防止用の備品として、ICTシステムと連携する非接触型IoTスマート体温計を導入することで、毎日の検温・記録業務の効率化が期待できます。

対象施設:保育所、幼保連携認定こども園、地域型保育事業所、認可外保育施設、児童厚生施設

基準額:定員※	19人以下	最大30万円
	20人以上59人以下	最大40万円
	60人以上	最大50万円
	児童厚生施設及び認可外の居宅訪問型保育事業	最大30万円

※(認可の)居宅訪問型保育事業は定員ではなく、月初日における利用児童数

参考:hugsafetyスマート検温サービス

<https://www.hugmo.net/hugsafety#Thermometry>

### ⑥保育所等における事故防止推進事業(厚生労働省)

園児の午睡中の安全対策を強化するために必要なベビーセンサー等の機器の導入に対する補助金制度です。ICTシステムと連携するベビーセンサーを導入することで、午睡チェックの安全対策を強化しながら、記録業務の効率化を図ることができます。

対象施設:私立保育所、幼保連携型認定こども園、地域型保育事業(居宅訪問型を除く)

基準額:1施設 最大50万円

補助率:3/4

### ⑦企業主導型保育所 防犯・安全対策強化加算(内閣府)

事故防止や事故後の検証及び防犯対策の強化のため、ビデオカメラやベビーセンサーの設置等を行う場合に加算がつきます。

対象施設:企業主導型保育所

助成金額:中小企業20万円／大企業10万円

参考:hugsafety午睡見守りサービス

<https://www.hugmo.net/hugsafety>

※市区町村によって実施状況や内容が異なる場合があります。詳しくは各自治体へお問い合わせください。

## まとめ

保育ICT化について、ICT化推進の背景、導入メリット、補助金制度をご紹介してきました。ICTは、保育士の負担を軽減し、こどもと向き合う時間を増やせるようにするためのツールです。貴園に合ったICTシステムを選び、補助金制度をうまく活用して導入しましょう。

▼————hugmoサービスのご質問・お問い合わせはこちら————▼

無料トライアルも実施中です。詳しくはお問い合わせください。

[https://www.hugmo.net/inquiry?c\\_code=20210212](https://www.hugmo.net/inquiry?c_code=20210212)